

## 新発田市教育委員会令和8年4月定例会 会議録

### ○ 議事日程

令和8年4月2日（木曜日） 午後2時 開 会  
豊浦庁舎 2階 教育委員会会議室

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 前回定例会及び臨時会会議録の承認について

日程第3 教育長職務報告

日程第4 議事

議第 1号 専決処分の承認について

（令和7年度新発田市一般会計補正予算（第18号）について）

議第 2号 専決処分の承認について

（令和8年度新発田市一般会計補正予算（第1号）について）

日程第5 その他

（1）令和8年新発田市議会2月定例会報告

（2）令和8年度歴史図書館蔵書点検について

### ○ 会議に付した事件

議事日程に同じ

### ○ 出席者

工 藤 ひとし 教育長  
石 坂 均 委 員（教育長職務代理者）  
笠 原 恭 子 委 員  
村 川 孝 子 委 員

### ○ 説明のため出席した者

教育総務課長 古 田 潤 子  
学校教育課長 彌源治 仁 伺  
学校教育課教育センター長  
須 貝 克 徳  
文化行政課長補佐 増 子 友 幸  
歴史図書館長 細 野 孝 司  
生涯学習課長 土 田 道 代  
青少年健全育成センター所長  
狩 野 琴 根

○ 書 記

教育総務課長補佐 阿 部 成 美

教育総務課教育総務係長

小 島 貴 志

教育総務課教育総務係主査

橋 本 隆 志

○ 議 事

○工藤教育長

ただ今から教育委員会、令和8年4月定例会を開会します。

今年度最初の定例会であります。会議の前に私から一言、御挨拶申し上げます。

教育委員の皆様におかれましては、日頃より御指導、御鞭撻をいただきまして心より感謝申し上げます。委員の皆様から様々な御意見を出していただいていることに敬意を表したいと思います。ありがとうございます。今後もよろしくお願いいたします。

せっかくの機会ですので少し話をさせていただきます。全ての子どもたちの力は無限なのですが、それを引き出すのが教職員、あるいは我々大人の仕事なのだなとつくづく感じています。特に学校卒業後の一人一人の大切な人生において、全ての基盤は小・中学校の教育だと思います。子ども達がより良い人生を創造していくためには、この基盤になる幼稚園、保育園、小学校、中学校の教育が全てなのだなとつくづく思います。「教育は人なり」と言われますし、「人は人によって人になる」、あるいは「人を育てるのは人しかない」と言われていますが、私も年を重ねて、まさにそのとおりなのだなと思います。そして、これは不易なことだと思います。「人は人によって変わらない」とか、「人は簡単に変変わらない」とも言われますが、人は人によっては変わりうると思うのです。それは出会いとでも言いますか、教育は未来を変えることなのだとつくづく思います。勉強するとは、知識を得ることに偏りがちなのですが、学びによって自分が変わるといことが、まさに勉強なのではないかなと思います。自分の考え方が変われば、行動も話すことも変わってきます。そうすると、人生そのものが変わっていく。だから勉強することはとても大事なのではないかと思います。

教育現場に目を向けると、皆さんも御存知のとおりですが、新発田市ではいじめが原因で大切な命を失った地域でもあります。裁判では、学校や市に非はなかったと認めていただきましたけれども、尊い命が失われたことに変わりはないわけで、もう二度とあのようなことが起こらないように、どの子どもも被害者にはいけないし、また加害者にもしてはいけない。子どもを悪者にはいけないと強く思いました。まさに教育の基本は人の尊厳や人権をしっかりと守り、考えていくことだと思います。二階堂市長は行政使命は「市民の命」と「市民の財産」を守ることだとおっしゃいますが、私は教育の使命は、「子どもたちの命」と「学ぶ権利」を守ることなのではないかと思います。人の命、人権、人間の尊厳を第一に考えて、相手も自分も一人一人大事にしていく。目の前の子どもは、新発田の市民でありますし、将来の保護者です。その子ども達を支える上で、青少年健全育成や児童クラブ、あるいは生涯学習、図書館教育、そして全ての文化芸術に至る取組は尊いものだと思いますし、まさにそれが教育であると思っております。この不易の基本を大事にして、新発田に暮らして良かったと言える町にこれか

らもしていきたいと思っておりますので、また教育委員の皆様、職員の皆様、どうぞお力をお貸しいただき、この1年もやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、4月の人事異動により、事務局職員にも異動がございました。本日初めて会議に出席する職員もおりますので、委員の皆様からも御挨拶をいただきたいと思っております。はじめに、石坂教育長職務代理者、よろしくお願いいたします。

○石坂教育長職務代理者

こんにちは、石坂均と申します。よろしくお願いいたします。教育委員に就任して2年が終わりまして、3年目に突入ということになります。先月、成人式に出席しました。今年の成人が、私が教員だった最後の年の中学1年生ということになります。その時の生徒に直接会ってはいないのですが、あの頃の中学1年生がこんなに立派になるのかと成人式を見ながら改めて感じておりました。成人するまでの20年間、立派に子ども達が成長してきたのは御家庭の力はもちろんですが、学校の先生方等、これから生涯に渡って豊かな生活を送るために、直接、間接的に関係するのが教育委員会の仕事だと思います。資料の主な事務事業の進捗状況の事業を見ますと、本当に生まれてから亡くなるまでに豊かな人生を送るすごく大事な部分に教育委員会が関わっているということを改めて感じました。

年々大変なことも増えてきていると思っておりますけれども、また今年1年よろしくお願いいたします。

○工藤教育長

ありがとうございました。次に、笠原委員、よろしくお願いいたします。

○笠原委員

こんにちは、笠原恭子と申します。3期目のラストイヤーとなります。だんだん義務教育のママ友が少なくなっているのですが、ママ友ネットワークを駆使しながら、会議の場で色々なお話をしていきたいと思っております。今年1年よろしくお願いいたします。

○工藤教育長

次に、村川委員、よろしくお願いいたします。

○村川委員

村川孝子です。よろしくお願いいたします。私は前任者の残任期間の1年間と2期目の2年目になります。これまで教育現場に小学校、大学も含めて43年間勤めてまいりました。学生に対し思うのは、今程教育長がおっしゃったように、子どもは新発田の将来を担っているということです。小中学校で一緒に学んだ子ども達が先生になりたいと言って大学の教育学部に来るのですよね。そのような子ども達を見ると、新発田の教育の素晴らしさ、特色ある新発田の教育に取り組んできた成果だと、皆様方の顔を見ながら考えておりました。また、今年1年よろしくお願いいたします。

○教育長

ありがとうございました。なお、山崎委員は本日御都合により欠席されておりますので、次回改めて御挨拶をいただきたいと思っております。

○工藤教育長

次に、古田教育総務課長から、今年度の事務局職員の紹介をお願いいたします。

○古田教育総務課長

【各職員紹介 省略】

○工藤教育長

ありがとうございました。今年度はこのメンバーで進めてまいります。皆様よろしくをお願いいたします。

それでは、会議に入ります。はじめに、「日程第1 会議録署名委員の指名について」であります。石坂教育長職務代理者を指名いたします。

次に、「日程第2 前回定例会及び臨時会会議録の承認について」お諮りいたします。既に送付してあります会議録について、質問等はございますか。

○工藤教育長

ないようですので、承認の方の挙手をお願いいたします。

○工藤教育長

挙手全員でありますので、「3月定例会」及び「3月臨時会」の会議録は承認されました。

次に、「日程第3 教育長職務報告」を行います。職務報告については、既に送付してあります「教育長職務報告（令和8年3月1日～令和8年3月31日分）」及び「令和7年度 教育委員会 主な事務事業進捗状況（第4四半期）」のとおり報告いたします。委員の皆様から何か質問等はございますか。

○工藤教育長

ないようですので、「教育長職務報告」及び「主な事務事業進捗状況（第4四半期）」について、承認の方の挙手をお願いいたします。

○工藤教育長

挙手全員でありますので、「教育長職務報告」及び「主な事務事業進捗状況（第4四半期）」は承認されました。

それでは、「日程第4 議事」に入ります。「議第1号 専決処分の承認について（令和7年度新発田市一般会計補正予算（第18号）について）」の審議を行います。古田教育総務課長から説明をお願いします。

○古田教育総務課長

それでは本日、卓上に配付させていただきました議案を御覧ください。3ページ目をお願いいたします。令和7年度新発田市一般会計補正予算（第18号）については、国の令和8年度予算の成立が遅れる可能性があることから、令和8年度早々の着手が必要な事業について、国の地域未来交付金を活用し、令和8年度予算から前倒しをするため、令和7年度に補正をし、4月1日からでもスタートできるよう、繰り越しをするものであります。歳出にあります茶会開催事業を初めとして三つの事業が該当いたしますが、大倉喜八郎のプロジェクトに係るものでございます。またそれに合わせまして、文化行政課歳入の茶会開催事業入場料の増額補正を行うものでございます。なお、繰越明許費の設定につきまして、3件の事業とも令和8年度に繰り越しを行います。

○工藤教育長

委員の皆様から御意見、御質問ございましたらお願いいたします。

○工藤教育長

御意見、御質問がないようですので「議第1号 専決処分の承認について（令和7年度新発田市一般会計補正予算（第18号）について）」を承認される方の挙手をお願いいたします。

○工藤教育長

挙手全員でありますので、議第1号は承認することに決しました。

次に、「議第2号 専決処分の承認について（令和8年度新発田市一般会計補正予算（第1号）について）」の審議を行います。古田教育総務課長から説明をお願いします。

○古田教育総務課長

続きまして、6ページをお願いいたします。先ほど御説明いたしました令和7年度新発田市一般会計2月補正予算を繰り越したことにより、同額を令和8年度予算から減額を行う補正となります。歳出の茶会開催事業から3件、歳入の文化行政課雑入の1件について、先ほど御説明いたしました議第1号の補正予算と同じ額が減額となっております。

○工藤教育長

委員の皆様から何か御質問等はございますか。

○工藤教育長

御意見、御質問がないようですので「議第2号 専決処分の承認について（令和8年度新発田市一般会計補正予算（第1号）について）」を承認される方の挙手をお願いいたします。

○工藤教育長

挙手全員でありますので、議第2号は承認することに決しました。

次に、「日程第5 その他」に入ります。はじめに、「(1) 令和8年 新発田市議会

2月定例会報告」について、古田教育総務課長から説明をお願いいたします。

○古田教育総務課長

令和8年新発田市議会2月定例会報告を御説明させていただきます。2月定例会は、2月25日から3月25日までの会期で行われました。この定例会には、令和8年度当初予算、教育委員会委員の任命について等の一般議案、令和7年度補正予算が上程され、可決されております。1ページ、一般質問です。8名の方から一般質問がありまして、そのうち3名の方が教育委員会に関するものについての御質問でございました。質問ナンバー3番、三母高志議員、4番広岡けんじろう議員、7番高橋芳子議員が該当いたします。2ページは会派代表による質問となります。全部で7会派の代表から御質問いただいておりますが、主なところといたしまして、質問ナンバー3番の中村こう議員、4番の板倉久徳議員について、後程詳細を説明させていただきます。

はじめに、一般質問について概略を説明させていただきます。3番、三母高志議員です。教員不足の現状と教育現場への影響について御質問がありました。それに対しまして、令和7年4月及び12月時点では、欠員状況5名となっておりますが、子ども達の学習活動に支障をきたさないように対応しております。学校全体に教員の余裕がなくなるといった影響が少なからず生じているものと認識していることについて御答弁いただいております。また、ICTを活用した効率的かつ有効な授業展開を進めており、学校教育課の指導主事が各学校に出向いて、「教師が教える授業」から、「子どもが自ら学ぶ授業」へ、教員の授業観の転換を図るよう指導しております。令和7年度の学校評価アンケートには、「学校が楽しい」、「授業がわかる」と答えた児童・生徒は、小中学校全体の92%となっていることから、教員不足による学習活動等への影響はほとんどないものと捉えていると教育長から御答弁いただいております。参考でございますが、令和8年4月1日現在、教員の欠員状況は、小学校が2名、中学校が1名であり、中学校は理科の教員と伺っております。また、議員の方からは、毎日のように先生がコロコロ変わる状況になっているのではないかとこの質問に対し、全校生徒を教員全員でしっかり見ていくということをやっている。担任が変わって困るということはないと御答弁をさせていただいております。また、50代、60代の職員が多く、どうしても40代の教員に業務が偏り、先生方は非常に疲弊しているのではないかとこの御質問に対しまして、市教育委員会では、若手の力量を高めるための研修や相談活動を行っている。昨年から「しゃべり場」というものを設け、若い人達の悩みについてお互い話し合っているとの答弁をさせていただいております。5ページですが、いじめや不登校の早期対応に影響が出る可能性もあるかとの問いに対し、担任1人だけではなく、学校全体で早期対応ができるよう体制を整備しておりますと答弁いただいております。また議員の方から、特別な支援を要する児童生徒への支援体制は十分かという質問に対し、現在、市内小中学校における特別支援学級の担任については欠員は生じておらず、教員不足による影響はありません。全ての特別支援学級に介助員を配置することにより特別支援教育コーディネーターや介助員が一体となって支援する体制を整備しておりますと答弁いただいております。教育長の見解といたしまして、根本には、教員の定数不足がある。定数の改善や人的配置の拡充について、国や県に要望し続けていくことが必要と考えているとの御答弁をいただいております。

8ページをお願いいたします。広岡けんじろう議員です。小中学校の整備計画の有無、

具体的な実施時期についての質問に対しまして、国の指針に基づき、令和元年度に新発田市学校施設等長寿命化計画を策定し、建築後20年及び60年経過時を目安に設備等の更新工事を主とした予防保全改修を、40年経過時を目安に大規模改修を行い、長寿命化を目指すこととしております。この計画に基づき、令和5年度に川東中学校で長寿命化改良工事を実施、令和7年度から本丸中学校長寿命化改良工事に着手し、年次計画で取り組んでいるところであります。今後10年間で6校が建築後40年を迎えます。建築基準法に基づき、3年ごとに実施している専門家による点検結果や、建物本体の耐力度調査をもとに具体的な改修内容を検討し、市の財政計画との整合を図りながら、事業の実進を進めていく予定と答弁していただいております。また議員の方から、専門的な調査を実施した経緯と今後の予定はとの問いに対し、点検時において、専門業者が異常検知した場合には、危険性や緊急度を確認し、速やかに修繕等の対応を行っております。学校から市教育委員会事務局へ報告をいただき、市職員による現場確認を行う等、必要に応じて専門業者に調査を依頼し、対応しておりますとの答弁をさせていただきます。

次に、高橋芳子議員です。今回の給食無償化への国の対応について市の見解は、との御質問に対し、市長は、学校給食が教育の一環であるならば、憲法の「義務教育はこれを無償とする」という規定に則り、学校給食費は国が責任を持って負担すべきであると主張し、無償化に向けて国が主導して全額国費で進めるよう働きかけた。その結果、全額国費での負担には及ばなかったものの、令和8年度の小学校給食費の約8割が国費で負担されることとなり、上回る部分については保護者に負担を求めず、市が支援を行い、小学校給食費を完全無償化する令和8年度当初予算議案を提案したとの答弁をさせていただきます。なお、この予算案は可決されております。従いまして、令和8年度は、小学校給食費完全無償化ということで事務を進めさせていただきます。また中学校給食費の負担軽減については、小学校と同様に、国による給食費負担軽減支援の開始時期に合わせて検討することとし、令和8年度においては、これまでと同様に保護者に御負担いただくことといたしました。12ページをお願いいたします。学校給食費公会計化についての御質問をいただいております。学校給食費の公会計制度導入に期待される最大の効果が、教職員が担っている学校給食費の徴収管理業務を地方公共団体が行うことで、教職員の業務負担を軽減し、授業改善や児童生徒に向き合う時間の増加に繋がることであります。ただし、学校給食費を無償化することによりまして、実質的に公会計化を実現した場合と同等の効果をえられるものと考えております。国が中学校への拡大もできる限り速やかに実現すると表明している現状において、多額の費用を投じてまで公会計化を実施すべきかを見極める必要があることから、慎重に判断してまいりたいと考えておりますとの答弁でございました。参考まででございますが、この公会計化のためのシステム系の整備費といたしまして、イニシャルコストに約700万円、年間のランニングコストに約800万円かかると聞いております。

続きまして代表質問でございます。13ページ、小柳はじめ議員です。こちらの内容につきましては、高橋芳子議員の給食費と同様の御質問がありました。市長の公約に係る部分についての御報告をさせていただきます。再答弁で、市長は学校給食の提供と食材費で約10億円必要であることから、単費では考えていない。また給食は教育の一環だと言っている限りは、国の責任だと思っており、国の力を借りながら、保護者負担のない学校給食にしていきたいと答弁しております。

15ページ、中村こう議員についてでございます。本日お手元にお配りさせていただきました「令和8年度新発田市教育委員会学校教育の指針」の内容について答弁をさせていただいたところでございます。「道学共創」の理念のもと、「しばたの心継承プロジェクト」、「人権教育、同和教育」、「食とみどりの新発田っ子プラン」といった特色ある学校教育を令和8年度におきましても引き続き取り組んでいくということでございますが、そこに加えまして、人間関係作りを推進していくことが重要であると考えている。また、自ら学ぶ子どもの育成に向け全力を注いでまいりますとの答弁をさせていただいております。

続いて16ページ、板倉久徳議員です。板倉議員からは、これまで定例教育委員会で休日部活動の地域移行に関しましては、随時御報告をさせていただいておりますが、令和8年4月から市内全中学校の全部活動が地域移行できる体制が整っております。こちらの運営に関しまして、持続可能な運営体制の構築について、議員の方から基金の創設について検討してはいかがかという質問でございました。これに対しまして、安定的な財源確保が直面する大きな課題の一つであると認識しておりますが、現段階で基金の創設について考えておりませんとの答弁をさせていただいております。

続いて19ページ、社会文教常任委員会常任委員会での概況報告をさせていただきます。主なものとしたしまして、令和7年度新発田市一般会計補正予算（第15号）議定の東中学校エレベーター整備に関して、他の学校にもエレベーターを新設していく計画はあるのかという御質問がありましたが、市教育委員会としましては、市内小中学校全体のエレベーター整備計画はないとの答弁をしております。

25ページでは、当初予算に関しましての予算審査特別委員会での社会文教常任委員会関係について御報告をさせていただきます。委員から、タブレット端末更新時の個人情報扱いは、との御質問がありましたが、個人情報は児童生徒用のタブレット端末には基本的に保存しない設定にしているため、個人情報の漏洩の危険性はないと捉えているとの答弁をさせていただいております。

37ページでは、アートの広場の協力隊とは、との御質問がありましたが、若手アーティストを協力隊として招聘し、文化芸術振興と併せて不登校支援に御尽力いただきたいと考えているとの答弁をさせていただいております。

47ページを御覧ください。予算審査特別委員会で市長総括質疑が行われました。物価高騰対策緊急支援の当市の対応と中学校給食費の保護者負担への対応は検討しないのかとの質問趣旨の市長総括質疑がございました。これに関して工藤教育長から、限りある予算をどこで使うかは市長部局と話し合いながら決定するが、まずは子どもの命を守りたい。一番これが大事だと感じている。子どもの命を守ること、学ぶ権利を保障してあげること、こちらを一番に考えていると答弁いただいております。また、二階堂市長から、一方に充填すればどこかの市民サービスは我慢してもらわなければいけなくなる。今回の国の物価高騰対策交付金を給食費無償化に活用した自治体もあるようだが、物価高騰対策は1年限りであるとの答弁をいただいております。

○工藤教育長

委員の皆様から何か御質問等はございますか。

○石坂教育長職務代理者

小学校が給食費を無償化し、中学校が従来のとおり給食費が徴収されるのはいかかなものかとの御意見が何人かの議員から出ているようです。確か3月に保護者向けに来年度の給食費のお知らせが送られたと思うのですが、その後、実際に保護者や市民からも同じような御意見や声は届いていますでしょうか。

○古田教育総務課長

市民の方、保護者の方からの声はいただいておりません。

○村川委員

教員の欠員について、今年度は小学校で2人、中学校で1人とのお話がありましたが、この小学校の2人というのは、学級担任が欠員ということですか。

○彌源治学校教育課長

学級担任の欠員ではございません。

○村川委員

欠員の原因は、正規職員を当てられなかったのか、それとも当初から講師が対応する予定にしていたが講師が見つからなかったということですか。

○彌源治学校教育課長

講師が見つかっていないところは、病気でお休みされていて4月復帰予定であった方が復帰を延期することになったため、今改めて講師を探しているところでございます。

○村川委員

欠員が生じている状況において、管理職の先生方の負担は大変大きいと思えました。また、特別支援について、新発田市は介助員やスクールサポートスタッフ等、様々な形で手厚く配置しているので、その部分での不備は生じないのではないかなと思えました。小学校は学級担任がいないと大変困った状況になりますが、今お聞きしたところによると学級担任ではないとのことでしたので、これから講師の先生が見つかるといいなと思います。市議会で、講師対応についても答弁されていますが、講師が不足していて探すのも難しいと思うのですが、学校も教育委員会も努力されているということが十分わかりました。ありがとうございました。

○彌源治学校教育課長

教員の欠員という状態が1日でも早く解消されるように、引き続き県の教育委員会と連携しながら対応してまいります。

○工藤教育長

学校教育課の方は教員確保のため色々な方に電話やお願いをしていますけれども、なかなか講師が見つからない現状です。講師の方がいない、登録者がいないという状況が起こっています。これは新発田市や新潟県だけでなく、全国的な問題ですので、これか

らこの問題について国県市で検討していかないと、将来にわたって教員不足がずっと続いていくのではないかと私も大変危惧をしています。今現在、県の方に要請をしておりますが、これだけでは足りないのです、これからも下越教育事務所と連絡をとりながらしっかりと対応していきたいと思えます。

ほかに委員の皆様から何か御質問等がございますか。

○笠原委員

先ほどの給食費のことについてですが、私も気になりまして今年小学校を卒業した子どもを持つ保護者の方とお会いした時に話を聞きましたが、その保護者の方は中学校で給食費を支払うけれども、給食があるだけでとてもありがたいことであり、毎日自分がお弁当を作るとなると給食費の金額では収まらないし、温かい美味しい給食を毎回出してもらえるので大変助かっている。給食費無償化の恩恵が受けられないことは残念ではあるけれども、それ以上に新発田市の給食は美味しいと子ども達の間でも評判ですし、保護者も給食を出してもらっていることがありがたいとの認識です。むしろ給食費は上がったとしても、他県のニュース等に出ているような、おかずの寂しい給食ではなくて、本当に栄養も考えられた給食を提供していただいていることに保護者の方はとても感謝しているという声がとても多いです。ぜひ議員の皆さんも給食を食べていただきたいと思えます。議員が給食を食べる機会はあるのですか。

○古田教育総務課長

議員の皆さんが給食を食べる機会承知しておりません。おそらくないのではないかと思います。私自身、お弁当よりも給食の方がとてもありがたかったです。美味しい温かい安全な給食をこれからも提供できるように頑張っていきたいと思えます。

○笠原委員

機会があれば、ぜひ議員も新発田市の給食を召し上がっていただければと思えます。私達は学校訪問をした際に給食をいただく機会があつて、私が小中学生の時に食べていた給食とは違うと思えますし、おそらく議員の皆さんも同じようなことを感じるのではないかと思います。

○工藤教育長

ありがとうございました。何か御質問等がございますか。

○工藤教育長

なければ、説明のとおり御了承願います。

次に、「(2) 令和8年度 歴史図書館蔵書点検について」、細野歴史図書館長から説明をお願いします。

○細野歴史図書館長

令和8年度歴史図書館蔵書点検について御説明いたします。図書館では、毎年、建物を休館し、館内の所蔵資料について棚卸しを行っております。歴史図書館は今年度、6月17日水曜日から6月28日日曜日までの12日間、図書資料、視聴覚資料、計約4

3, 500点と古文書等の郷土資料第3集4, 328件の所在確認を行いたいと考えております。休館に伴い、市民及び利用者の皆様には、御迷惑をおかけしますが、来館時の案内をはじめ、広報、ホームページを通して周知してまいります。以上です。

○工藤教育長

何か御質問等がございますか。それでは他に事務局の方ございましたらお願いしたいと思っております。

○細野歴史図書館長

チラシを御覧ください。歴史図書館では、春夏秋冬季節ごとに展示替えを行っております。毎年、春は、「新発田藩の歴史資料」と題し、新発田城本丸庭園図のほか県文化財に指定された「新発田藩資料」を展示します。期日は、4月4日土曜日から6月16日火曜日までです。期間中は、職員の展示解説やまち歩きも開催しますので、委員の皆様もぜひ御覧ください。

○工藤教育長

歴史図書館の方で工夫をいただき毎回このような運用をしております。ぜひ教育委員の皆さんも、時間に御都合がございましたら御訪問いただければと思っておりますのでよろしくお願いたします。他に何かございますか。

○工藤教育長

なければ、説明のとおり御了承願います。  
次に、「教育委員会・今後の日程（予定）」について、古田教育総務課長から説明をお願いいたします。

○古田教育総務課長

網掛けのところ、4月1日水曜日9時半から、教育委員会7月定例会、もう一つ、7月29日水曜日9時半から、教育委員会8月定例会を追加させていただいております。御都合の方、よろしくお願いたします。

○工藤教育長

何か御質問等がございますか。

○工藤教育長

なければ、今後の予定については説明のとおりですので、よろしくお願いたします。ほかに、事務局から報告等がありますか。

○増子文化行政課長補佐

三点ほどお知らせがあります。まず一点目になります。春らんまん歴史ツアーの件でございます。皆様の方からもお申し込みいただきまして大変ありがとうございました。80名の募集のところ109名の申し込みがありましたので抽選とさせていただきます。その中には市内の中学生15名が入っております。しばたの心継承プロジェクトとして多くの子どもたちに新発田の歴史を知っていただきたく良い機会であると捉えてお

ります。

二点目ですが、新発田城夜の特別公開でございます。新発田の春まつりに合わせまして、普段は夜の公開をしていない新発田城表門から辰巳櫓までの新発田城内を夜に特別公開する予定にしております

最後に三点目、新発田城の保全及び周辺整備等の寄附金の募集についてでございます。この寄附については、3月から募集を開始しております。今後、土橋門の復元であったり、旧二の丸、角櫓、表門の耐震、保守など多くの事業が予定されておまして、新発田城が後世に受け継がれていくため、多くの皆様から御協力をいただいているところでございます。この寄附の他、ふるさと納税やガバメントクラウドファンディング等も行いながら、広く募集をしているところでございます。なお、先日3月26日に寄附の第1号として新発田城復元の会から300万円の寄付をいただいております。今後活用させていただく予定にしております。

○工藤教育長

他に事務局から何かございますか。

新発田城の夜の特別公開は、去年は900人近く集まったということで、二階堂市長も喜んでおりました。11日は、ぜひ委員の皆さんも足を運んでいただければと思いますのでよろしく願いいたします。いよいよ土橋門の復元計画が進行するというところで、クラウドファンディングを始めましたので、よろしく願いいたします。

○工藤教育長

委員の皆様からは、何かございますでしょうか。

○村川委員

情報提供ですが、図書館に「10代の居場所カフェ」があります。開設してから今年で10年ぐらいになるのではないかと思います。先日立ち寄った際に覗いてきたのですが、開設当時からいらっしゃる担当職員の2名は、元中学校の先生であり、大変親身になって子ども達を見ていらっしゃいます。ここに通っていた子どもが大学生になり、たまたま訪ねて来ていました。春休みになり多くの子ども達が利用しています。この事業は本来は中学生を対象にスタートしたのではないかと思いますのですが、小学校の高学年の子どもも多く利用しています。10年経って子ども達の居場所として定着してきたように思いました。これまで子ども達を支えてこられた職員の方のご苦勞を考え、お話ししました。皆さん、1回覗いてみてください。

○工藤教育長

大変貴重な御意見をありがとうございました。車野校の子ども達も毎週水曜日に全員行っています。そして、そこで新しい友達を作り、また、高校等へ進学していますが、その子ども達も訪ねてきては、自分の今の状況をお話をする等、車野校の子ども達の交流の場にもなっています。このような取組をしている地域は本当に少なく、新発田市は中央図書館創設以来ずっと取り組んでいます。以前、新潟日報に掲載された時にはトータルで利用者が5,000人でありましたが、今はそれ以上に増えていると思います。本当に素晴らしい取組をさせていただいております。紹介させていただき感謝申し上げます。

他に何かございましたらお願いいたします。

それでは、以上で教育委員会令和8年4月定例会を閉会いたします。

午後2時55分 閉 会

令和8年4月2日

新発田市教育委員会教育長

委 員